

実施

## 施 行 条 件 明 示 書

工 事 名 令和7年度 市道青木前1号線(無名橋1号)橋梁修繕工事  
工 事 場 所 白石市福岡深谷字青木脇 地内

白石市

# 一 特記仕様書一

## 施工条件明示書

工事番号	工事名			令和7年度 市道青木前1号線(無名橋1号)橋梁修繕工事	事務所名	宮城県白石市																	
項目	条件			内 容	施工方法	備 考																	
1 共通仕様書の適用	本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。																						
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置	<p>(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」</p> <p>○ 契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)</p> <p>(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)</p> <p>○ 契約工期初日以降、○○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。</p> <p>(3) 上記以外</p> <p>○ 請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手</p> <p>上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼動であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html</p>																						
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置	建設業法第26条第3項ただし書の規程(以下「専任特例」という。)の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事の主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要しなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。																						
4 積算基準及び設計単価の適用期日	<p>(1) 積算基準及び設計単価の適用について</p> <p>○ ある ○ ない 積算基準及び設計単価は公告日の同月の基準及び単価としている。</p> <p>(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更</p> <p>○ ある ○ ない 本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要する工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。</p> <p>適用「なし」 (例) の理由 本工事は災害に伴う応急仮工事であり、積算及び契約が同月となる見込みであるため。</p>																						
5 工程関係	<p>(1) 関連工事による施工時期の調整</p> <p>○ ある ○ ない</p> <p>(2) 施工時期による制限</p> <p>○ ある ○ ない 河川協議により非出水期施工とする。 11月～5月</p> <p>(3) 関係機関等との協議の未成立</p> <p>○ ある ○ ない 警察(交通管理者)との協議</p> <p>監督職員と協議を行い施工すること</p> <p>(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加</p> <p>○ ある ○ ない 上記関係機関との協議結果により</p> <p>監督職員と協議を行い施工すること</p>																						
6 公害対策関係	<p>(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限</p> <p>○ ある ○ ない</p>																						
7 安全対策関係	<p>(1) 交通安全施設等の指定</p> <p>○ ある ○ ない 警察(交通管理者)との協議結果による</p> <p>監督職員と協議を行い施工すること</p> <p>(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限</p> <p>○ ある ○ ない</p>																						
8 排水工関係	<p>(1) 潜水、湧水処理のための特別な対策の必要性</p> <p>○ ある ○ ない</p>																						
9 建設副産物対策関係(建設発生土)	<p>(1) 建設発生土の処理・処分について</p> <p>本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">処理・処分する場所</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">所在地</th> <th rowspan="2">処理・処分方法</th> <th rowspan="2">距 離</th> <th rowspan="2">制 限 時 間</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ ある ○ ない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 建設発生土</p> <p>処理・処分</p>							処理・処分する場所	名称	所在地	処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考	名称	所在地	○ ある ○ ない						
処理・処分する場所	名称	所在地	処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考																	
							名称	所在地															
○ ある ○ ない																							

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)																		
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または廃棄物対策課のHPを参照)。																
		処理・処分する場所		処理・処分方法		距離		制限時間										
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。																		
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	◎ある	○ない	仙周工業㈱エコセンター 白石市福岡八宮	中間処理・再生資源化	1 km	時分～時分										
		アスファルト塊	◎ある	○ない	仙周工業㈱エコセンター 白石市福岡八宮	中間処理・再生資源化	km	時分～時分										
		建設発生木材	◎ある	○ない			km	時分～時分										
		建設汚泥	◎ある	○ない			km	時分～時分										
		その他	◎ある	○ない			km	時分～時分										
(3) 再生材の利用		◎ある	○ない	種類・数量														
11 現場環境改善																		
(1) 現場環境改善費(率計上)について		◎ある	○ない	本工事は、現場環境改善費(率計上分)を計上している工事である。下表の内容のうち原則として、各計上費目(仮設設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を選択し、具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>計上費目</th><th>実施する内容(率計上分)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緩化・荷重 3. ライトアップ施設 4. 見守看板及び椅子の設置 5. 犬降装置の充実 6. 現場負荷の軽減</td></tr> <tr> <td>営繕関係</td><td>1. 現場改良度の快適化(如半用更衣室の設置を含む) 2. 安全柵の快適化 3. デザインパック(交差点等警備員告機室) 4. 現場内通路の快適化 5. 朝鮮防護設備及び厚生施設の充実等</td></tr> <tr> <td>安全関係</td><td>1. 工事現場・隙間等安全柵の設置(警光灯搭載等) 2. 布団施工対策(警報装置等) 3. 安全アドバイス、工法説明会、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の実施(イベント等の実施含む) 6. 見守所(休憩室等)の設置及び宅便運営 7. ベンチレット・工法説明パネル 8. 地域防災備蓄(地震等の経費を含む) 9. 社会貢献</td></tr> <tr> <td>地域連携</td><td></td></tr> </tbody> </table>					計上費目	実施する内容(率計上分)	仮設設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緩化・荷重 3. ライトアップ施設 4. 見守看板及び椅子の設置 5. 犬降装置の充実 6. 現場負荷の軽減	営繕関係	1. 現場改良度の快適化(如半用更衣室の設置を含む) 2. 安全柵の快適化 3. デザインパック(交差点等警備員告機室) 4. 現場内通路の快適化 5. 朝鮮防護設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事現場・隙間等安全柵の設置(警光灯搭載等) 2. 布団施工対策(警報装置等) 3. 安全アドバイス、工法説明会、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の実施(イベント等の実施含む) 6. 見守所(休憩室等)の設置及び宅便運営 7. ベンチレット・工法説明パネル 8. 地域防災備蓄(地震等の経費を含む) 9. 社会貢献	地域連携	
計上費目	実施する内容(率計上分)																	
仮設設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緩化・荷重 3. ライトアップ施設 4. 見守看板及び椅子の設置 5. 犬降装置の充実 6. 現場負荷の軽減																	
営繕関係	1. 現場改良度の快適化(如半用更衣室の設置を含む) 2. 安全柵の快適化 3. デザインパック(交差点等警備員告機室) 4. 現場内通路の快適化 5. 朝鮮防護設備及び厚生施設の充実等																	
安全関係	1. 工事現場・隙間等安全柵の設置(警光灯搭載等) 2. 布団施工対策(警報装置等) 3. 安全アドバイス、工法説明会、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の実施(イベント等の実施含む) 6. 見守所(休憩室等)の設置及び宅便運営 7. ベンチレット・工法説明パネル 8. 地域防災備蓄(地震等の経費を含む) 9. 社会貢献																	
地域連携																		
(2) 避暑(熱中症対策)・避寒対策費について		避暑(熱中症対策)・避寒対策を実施した場合、その費用を設計変更の対象とする。(共通仮設費の現場環境改善費(積み上げ分)として計上)実施に当たっては、対策内容が分かる資料により発注者と協議すること。費用については、注文書及び請求書、またはそれに代わる書類により協議すること。ただし、設計変更の上限額は、土木部標準積算基準書により算出した現場環境改善費(率計上分)の50%とする。なお、設計変更の対象となる内容は、遮光設備や大型扇風機、製水機の設置費用など現場の施設や設備に対する対策であり、空調服や経口保水液の購入費用など作業員個人に対する対策は対象外となる。																
(3) 快適トイレの設置費について		受注者が快適トイレを設置する場合、その費用を設計変更の対象とします。(共通仮設費(営繕費)の積み上げ分として計上)実施に当たっては、「快適トイレの設置費用に係る積算基準」(事業管理課HP-各種基準)を参照すること。																
12 品質証明																		
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象		◎ある	○ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。														
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象		◎ある	○ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。														
13 標準的な設計図書による発注方式																		
14 資材関係																		
(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。																
(2) 購入土		購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。																
(3) 宮城県グリーン製品の利用		必須		1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。														
		◎ある	○ない	2. 盛土材、埋め戻し材														
		◎ある	○ない	3. その他( )														
(4) 県内産製品の使用		本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。 工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html</a>																
(5) 現場吹付法枠工		吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm <sup>2</sup> 以上とする。																
15 設計変更の手続き																		
(1) 設計変更の手続きについて		設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。																
		詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事・建設関連業務】」を参考すること。 <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html</a> トップページへ																
16 その他																		
(1) 補装の下請制限について		◎ある	○ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。														
(2) 「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無		◎ある	○ない	本工事は「ダンブ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンブ土砂運搬等下請契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る2次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。														
(3) 三者会議の対象の有無		◎ある	○ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。														

(4)貸与資料の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本仕様書によるものほか工事施工に関する必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料( )
(5)発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。
(6)法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを持ちに発注者に提示すること。
(7)熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。
(8)盛土規制法について			本工事において、盛土規制法の規制対象となる行為を行う場合は、事前に手続き方法等について発注者と協議すること。 詳細については、以下のホームページを参考すること。 <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html</a>

## 働き方改革・生産性向上に関する事項

項目	条件	内 容	
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	<ol style="list-style-type: none"> <li>対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。</li> <li>ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。(「簡易型(施工計画型)」、「標準型」、「高度型」の場合) なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。</li> </ol>
(2)実施された技術についての費用計上(設計変更)	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input type="radio"/> 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化			
(1)工事情報共有システムの活用	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタンス等の推進			本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。 <a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html</a>
19 週休2日工事の適用の有無			
(1)週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input type="radio"/> 実施困難工事	<ol style="list-style-type: none"> <li>週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。</li> <li>改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。</li> </ol> <p>実施困難工事 (例) ・応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日の確保が困難なため</p>
(2)週休2日工事の種別	<input checked="" type="radio"/> 現場閉所型	<input type="radio"/> 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交替制:現場閉所を行なうことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3)週休2日工事の区分			当初発注においては、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組む場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。 協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組み、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無			
(1)女性活躍推進モデル工事	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ( <a href="https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/">https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/</a> )で確認のこと。
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無			
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	実施に当たっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。

## 東日本大震災に伴う特例制度

項目	条件	内容	施工方法	備考
22 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1)労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある □ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち營繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>營繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1)共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: <b>22.04%</b></p> <p>2)現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: <b>1.73%</b></p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>		
(2)労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事	○ある □ない	本工事は、「労働者宿舎設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舎の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。		
23 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1)遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある □ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定期的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項</p>	
24 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1)施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある □ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○, ○○), △△地区(施工箇所○○, ○○), □□地区(施工箇所○○)」(以下、対象地区といふ)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
25 その他				
(1)土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある □ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。		
(2)東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	○ある □ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算とかい離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1		

## 特記事項

參 考 明 細 書

令和 7 年度

# 実施設計書

白石市  
令和年月日

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和7年度 市道青木前1号線（無名橋1号）橋梁修繕工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事			式	1				
工場製作工			式	1				
桁補強材製作工			式	1				
製作加工	鋼材規格:主桁補強材							単 1号
		t	0.89					
工場純工事費			式	1				
(工場製作原価)			式	1				
橋梁保全工事			式	1				
舗装工			式	1				
構造物取壊し工			式	1				
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm							単 2号
		m2	21					
運搬処理工			式	1				
殻運搬	殻種別:アスファルト殻							単 3号
		m3	1					
殻処分	殻種別:アスファルト殻		式	1				単 4号
		m3	1					

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和7年度 市道青木前1号線（無名橋1号）橋梁修繕工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋面防水工			式	1				
橋面防水	防水工種類:塗膜防水		m2	21				単 5号
トーナー排水			箇所	10				単 6号
舗装打換え工			式	1				
表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), 材料規格:密粒度As改質II型(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超		m2	21				単 7号
橋梁床版工			式	1				
桁補強工(鋼板接着工法)			式	1				
鋼板接着			m2	18				単 8号
橋梁付属物工			式	1				
橋梁用防護柵工			式	1				
橋梁用防護柵	種別:再設置		m	15				単 9号
橋梁補修工			式	1				
橋梁地覆補修工			式	1				

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和7年度 市道青木前1号線（無名橋1号）橋梁修繕工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁地覆とりこわし			m3	1				単 10号
鉄筋	鉄筋規格:SD345 D13		t	0.09				単 11号
コンクリート	形状寸法:0.24×0.25×7.4, コンクリート規格:24-12-25 (20)-55%, コンクリート規格:24-12-25 (20)-55%		m3	1				単 12号
断面修復工			式	1				
左官工法	1構造物当たり修復延べ体積:1.91m3, 材料種類:ポリマー・セメントモルタル, 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理:有り		構造物	1				単 13号
構造物撤去工			式	1				
橋梁用防護柵撤去工			式	1				
橋梁用防護柵撤去			m	15				単 14号
運搬処理工			式	1				
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)		m3	3				単 15号
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)		m3	3				単 16号
仮設工			式	1				
交通管理工			式	1				

# 設計内訳書 (本01)

工事名	令和7年度 市道青木前1号線（無名橋1号）橋梁修繕工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
交通誘導警備員		人日						単 17号
直接工事費		式	1					
共通仮設		式	1					
共通仮設費		式	1					
現場環境改善費		式	1					
現場環境改善費（率計上）		式	1					
共通仮設費（率計上）		式	1					
純工事費		式	1					
現場管理費		式	1					
(現場原価)		式	1					
工事原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					

## 設計内訳書（本01）

# 単 価 表

※単価表は参考図書とする

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 1号	製作加工	鋼材規格:主桁補強材	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
桁補強材料費			t	1			単 18号	
合計								
単価							円／t	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 2号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:5cm	単位	m <sup>2</sup>	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎		アスファルト舗装版, 有り, 4cmを超え10cm以下, 有り, 全ての費用						
合計			m <sup>2</sup>	1				
単価							円／m <sup>2</sup>	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 3号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		舗装版破碎, 機械積込(小規模土工), 無し, 1.5km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 4号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 19号	
合計								
単価							円／m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 5号	橋面防水	防水工種類:塗膜防水	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗膜系防水		補修, 有, 64. 455m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> , 有, 93. 839m <sup>2</sup> /100m <sup>2</sup> , 無					単 20号	
合計			m 2	1				
単価							円/m <sup>2</sup>	

# 1次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 6号	ト、レーン排水		単位	箇所	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
床版排水 <sup>ハ</sup> イ <sup>フ</sup> 据付			箇所	10			单 21号	
			m	15				
フレキシブルチューブ 据付			箇所	10			单 22号	
			m	15				
橋梁用床版水抜管 フレキシブルチューブ $\phi$ 20 SUS 片ナット付			箇所	10				
			m	15				
導水管 鋼管(STK400) $\phi$ 34			箇所	2.6				
			m	2.6				
径違いエルボ <sup>ハ</sup> RSL(A:20×15 B:3/4×1/2)			箇所	10				
			個	10				
排水管固定金具 ステンレスA16用+オールフ <sup>ラ</sup> グ MILS-8			箇所	10				
			組	10				
合計			箇所	10				
単価			箇所	10			円/箇所	
			箇所	10				
			箇所	10				
			箇所	10				
			箇所	10				

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 7号	表層	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), 材料規格:密粒度As改質II型(13), 補装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	単位	m <sup>2</sup>	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		3.0m超, 50mm, 各種(2.30以上2.40t/m <sup>3</sup> 未満), 無し, 全ての費用	m <sup>2</sup>	1				
合計								
単価							円/m <sup>2</sup>	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 8号	鋼板接着		単位	m <sup>2</sup>	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鋼板接着工			m <sup>2</sup>	1			単 23号	
合計								
単価							円/m <sup>2</sup>	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 9号	橋梁用防護柵	種別:再設置	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵設置工 (材料費を除く手間のみ)		コンクリート建込, Gp-Cp-2B 塗装品, 20m未 満, 無, 無, 無	m	1			単 24号	
合計								
単価							円／m	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 10号	橋梁地覆とりこわし		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
とりこわし		全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	鉄筋	鉄筋規格:SD345 D13	単位	t	単位数量	0.087	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋		SD345 D13, 全ての費用	t	0.087				
コンクリートアンカー D13			本	112				
合計								
単価							円／t	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	コンクリート	形状寸法:0.24×0.25×7.4, コンクリート 規格:24-12-25(20)-55%, コンクリート規格 :24-12-25(20)-55%	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート		24-12-25(20)-55%, 有り, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 13号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:1.91m <sup>3</sup> , 材料種類:ボリマーセメントモルタル, 鉄筋ケルン・ 鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有り, 0.1m <sup>3</sup> 以上, 1.91m <sup>3</sup>	構造物	1			単 25号	
合計								
単価							円/構造物	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 14号	橋梁用防護柵撤去		単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
防護柵撤去工 (ガードパイプ撤去工)		コンクリート建込, 無, 無	m	1			単 26号	
合計								
単価							円/m	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 15号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 1.6km以下, 全ての費用	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

## 1次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 16号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費(m3)		無	m3	1			単 27号	
合計								
単価							円／m3	

# 1次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 17号	交通誘導警備員		単位	人日	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日				単 28号	
合計								
単価							円／人日	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 18号	桁補強材料費		単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
主桁補強材			t	1				
合計								
単価							円／t	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 19号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 アスファルト殻			m3	100				
合計								
単価							円／m3	

## 2 次单価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

## 2 次单価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

## 2次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 22号	フレキシブルチューブ 据付	単位	m	単価	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員			人				
諸雑費(率+まるめ)			式	1			
合計							
単価							円/m

## 2 次单価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

## 2次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 24号	防護柵設置工 (材料費を除く手間のみ)	コンクリート建込, Gp-Cp-2B 塗装品, 20m未 満, 無, 無, 無	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ガードパーキング設置工 C0建込用 Gp-Cp-2B 塗装			m	1				
ガードパーキング 歩車道境界用 GP-CP-2B C0建込 塗装			m	1				
合計								
単価							円／m	

## 2 次单価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 26号	防護柵撤去工 (ガードパイプ撤去工)	コンクリート建込, 無, 無	単位	m	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ガードパイプ撤去工 C0建込用 Gp-Ap, Bp, Cp-2B			m	1				
合計								
単価							円／m	

## 2次単価表

単価使用年月	2025.12
歩掛適用年月	2025.12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 27号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コンクリート殻(無筋)			m3	100				
合計								
単価							円／m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2025. 12
歩掛適用年月	2025. 12
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 28号	交通誘導警備員B		単位	人日	単価	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人					
合計								
単価							円／人日	

## 位 置 図



令和 7 年度

市道青木前1号線（無名橋1号）橋梁修繕工事

【 実 施 】

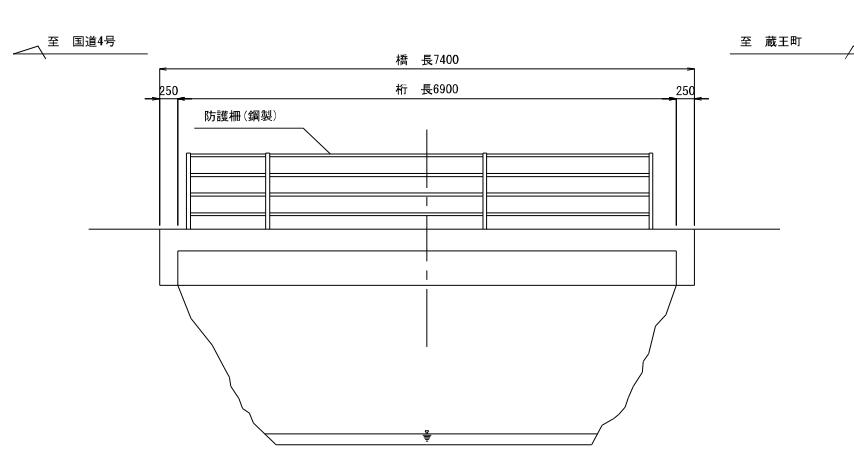
設 計 図 面

白 石 市

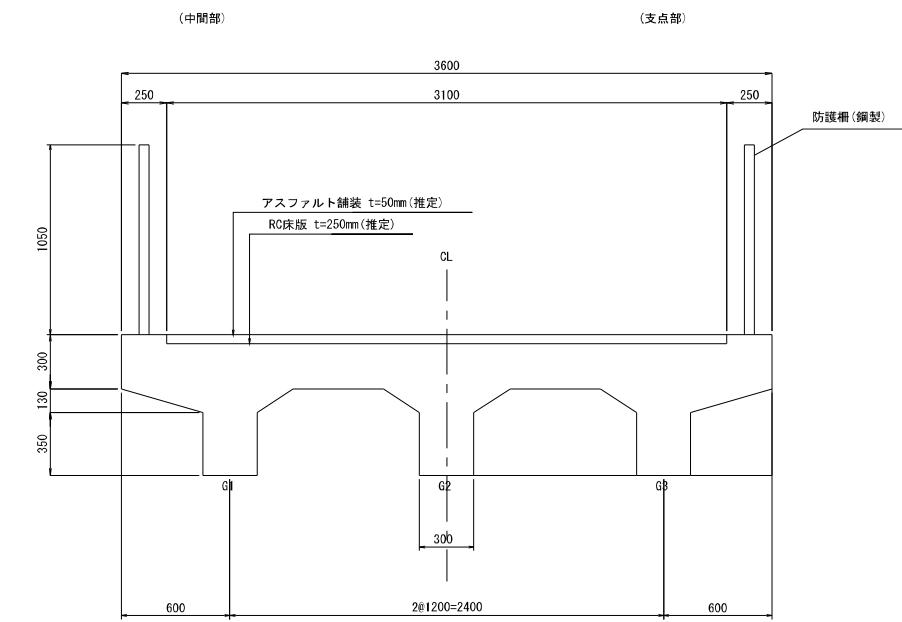
## 令和7年度 市道青木前1号線（無名橋1号）橋梁修繕工事

## 現況一般図

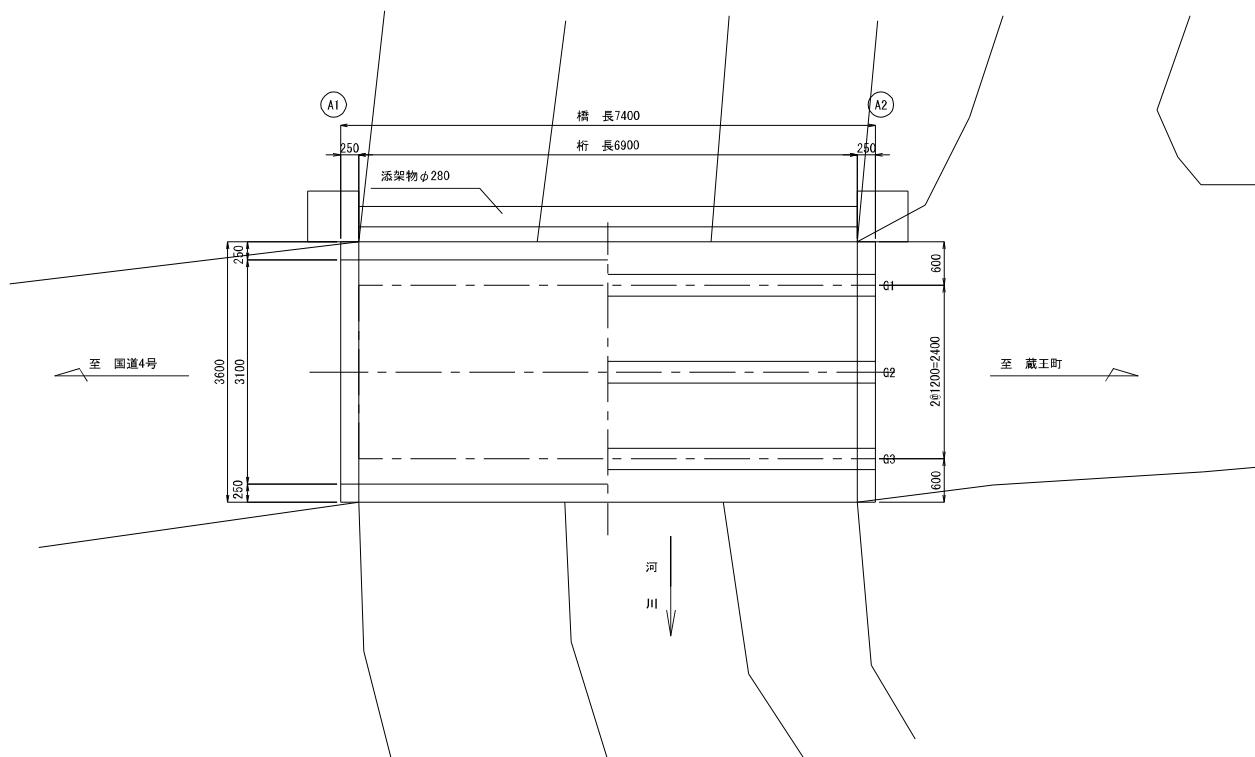
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



平面図 S=1:50



設計条件	
橋種	コンクリート橋
交差条件	河川
型式	単純RCT桁橋
橋長	7,400m
支間	7,400m
幅員	有効3,600m 全幅員3,100m
斜角	90°
活荷重	不明
添架物	水道管Φ280
舗装	アスファルト舗装t=50mm
床版	鉄筋コンクリート床版t=250mm
橋体形式	橋台
基礎形式	橋台
適用示方書	不明
竣工年	不明

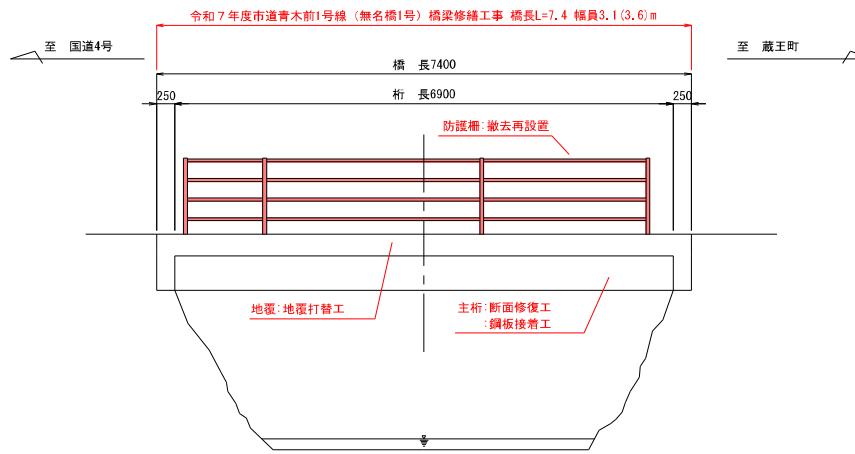
実施

注記  
 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。  
 施工前に現況を再度調査・寸法計測し、数量を算出すること。  
 本図面は、業務時に確認した点検調書・現地確認書に基づいており、施工の際は現地確認を行い、損傷等の進行を調べ補修工法を確認の上、施工すること。

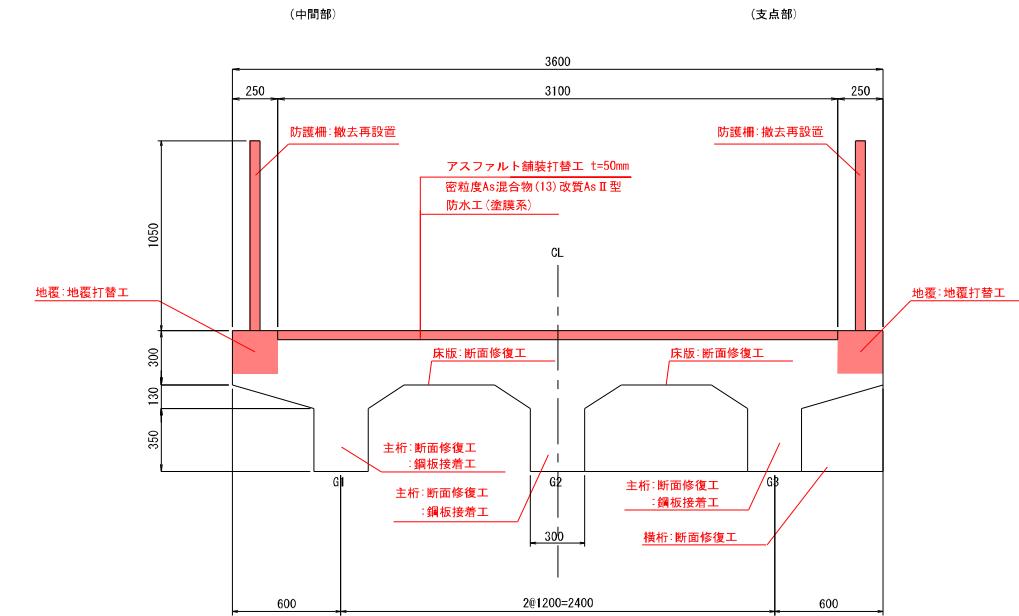
工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋)1号 橋梁修繕工事		
図面名	現況一般図		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者	設計 年度		
白石市	図番 1/8		

## 補修一般図

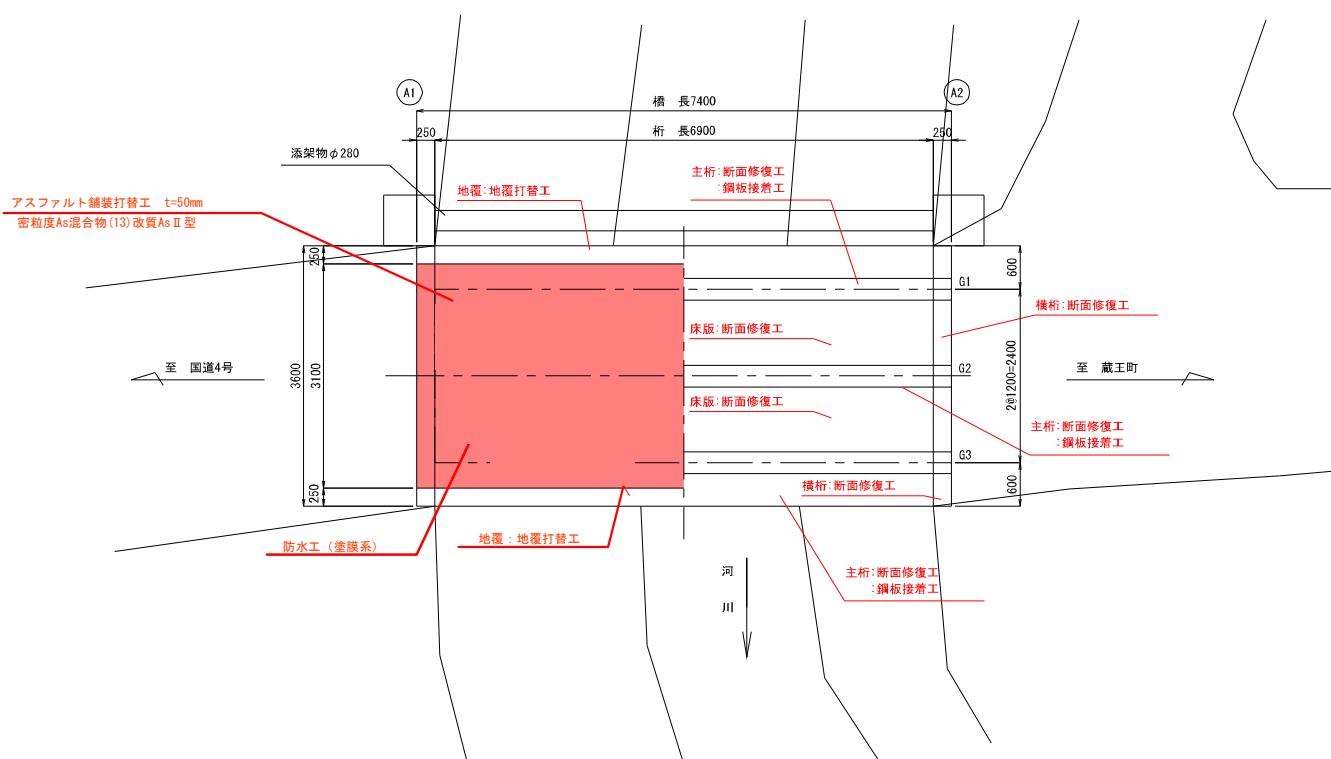
## 側面図 S=1:50



## 断面図 S=1:20



## 平 面 図 S=1:50



### 補修・補強項目一覽表

工 种	部 位	備 考
床版防水+再舖裝工	塗膠系防水.舖裝打替え	
上部工補修工	主桁. 橫桁. 床版	
防護柵補修工	防護柵撤去再設置	
地覆補修工	地覆打替工 24-12-25 (20) -55%	
主桁補強工	鋼板接養工	

## 实施

工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	補修一般図		
縮尺	図示	位置	N.O. ～N.O.
設計者		設計 年度	
白石市	図番	2/8	

注記

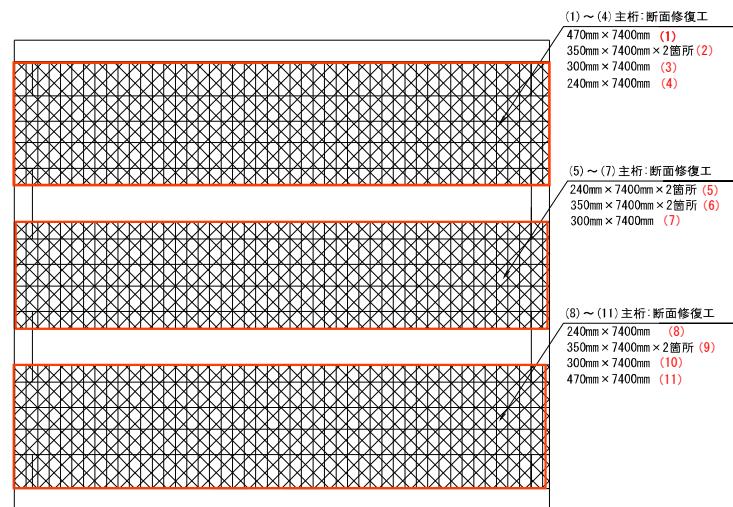
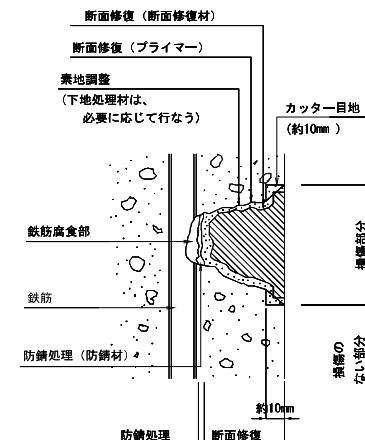
- ・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
- ・施工前に現況を再度調査・寸法計測し、数量を算出すること。
- ・本図面は、業務時に確認した点検調査・現地確認を基に作成しており、施工の際は現地確認を行い、損傷等の進行を調べ補修方法を確認の上、施工すること。

# 主桁補修工図

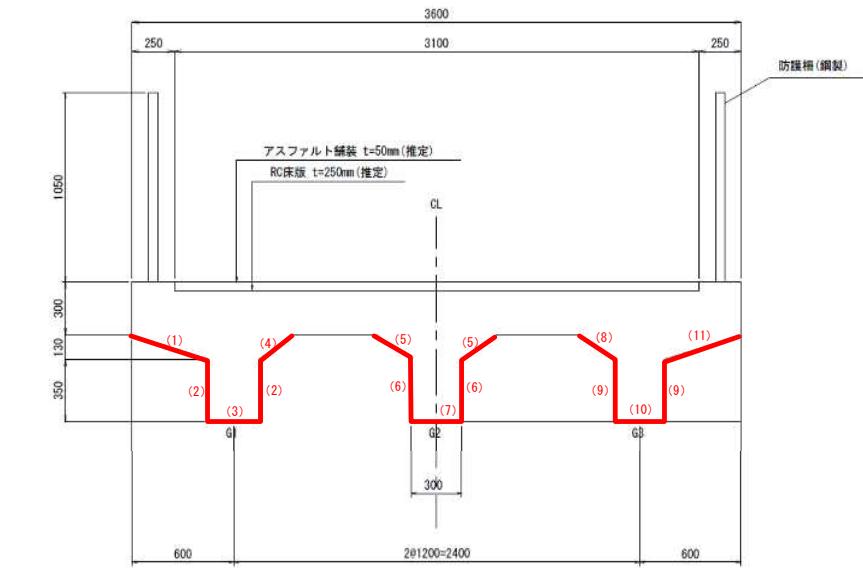
## 断面修復工図

桁 下 面 S=1:50

### 断面修復工詳細図 (参考図)

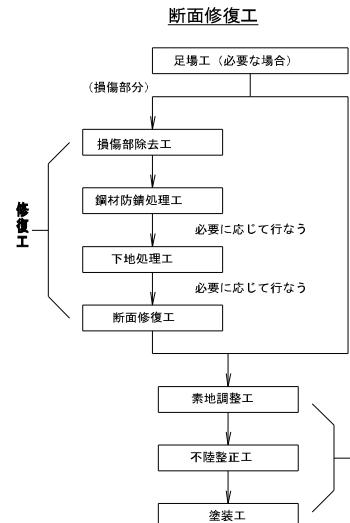


(A1) (A2)



断面修復範囲

### 施工手順フロー



### 断面修復工数量表

位 置	単 位	数量計算		数 量	摘要
		数量	計算式		
主桁	(1)	m3	0.47 x 7.40 x 0.05	= 0.174	
	(2)	m3	0.35 x 7.40 x 0.05 x 2	= 0.259	
	(3)	m3	0.30 x 7.40 x 0.05	= 0.111	
	(4)	m3	0.24 x 7.40 x 0.05	= 0.089	
	(5)	m3	0.24 x 7.40 x 0.05 x 2	= 0.178	
	(6)	m3	0.35 x 7.40 x 0.05 x 2	= 0.259	
	(7)	m3	0.30 x 7.40 x 0.05	= 0.111	
	(8)	m3	0.24 x 7.40 x 0.05	= 0.089	
	(9)	m3	0.35 x 7.40 x 0.05 x 2	= 0.259	
	(10)	m3	0.30 x 7.40 x 0.05	= 0.111	
	(11)	m3	0.47 x 7.40 x 0.05	= 0.174	
合 計		m3		= 1.814	

実施

工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	主桁補修工図		
縮 尺	図 示	位 置	NO. ~NO.
設 計 者			設計 年度
白 石 市	図番	3 / 8	

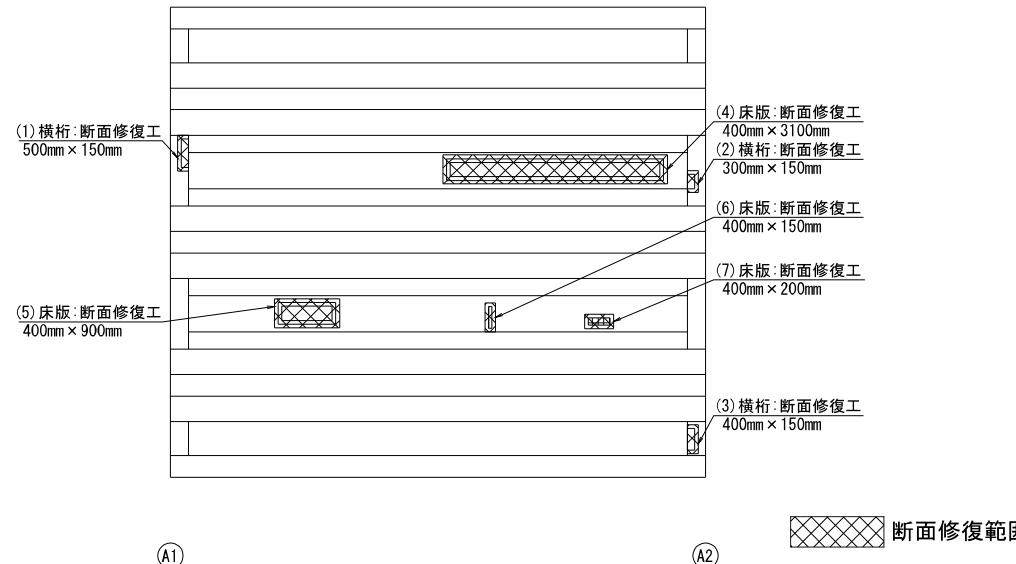
### 注記

・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものです。  
・施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。  
・鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。

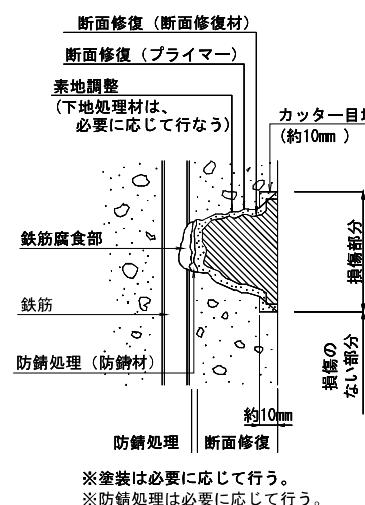
# 上部工補修工図

## 断面修復工図

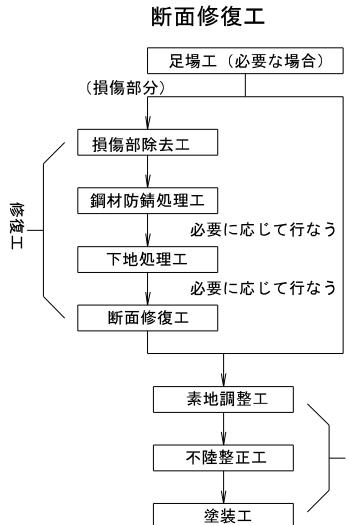
桁 下 面 S=1:50



### 断面修復工詳細図 (参考図)



### 施工手順フロー



### 断面修復工数量表

位 置	单 位	数量計算	数 量	摘 要
横桁	(1)	$0.50 \times 0.15 \times 0.05$	= 0.004	
	(2)	$0.30 \times 0.15 \times 0.05$	= 0.003	
	(3)	$0.40 \times 0.15 \times 0.05$	= 0.003	
	(4)	$0.40 \times 3.10 \times 0.05$	= 0.062	
	(5)	$0.40 \times 0.90 \times 0.05$	= 0.018	
	(6)	$0.40 \times 0.15 \times 0.05$	= 0.003	
	(7)	$0.40 \times 0.20 \times 0.05$	= 0.004	
合 計	m3		= 0.097	

※修復深さは5cmを目安とする。

実施

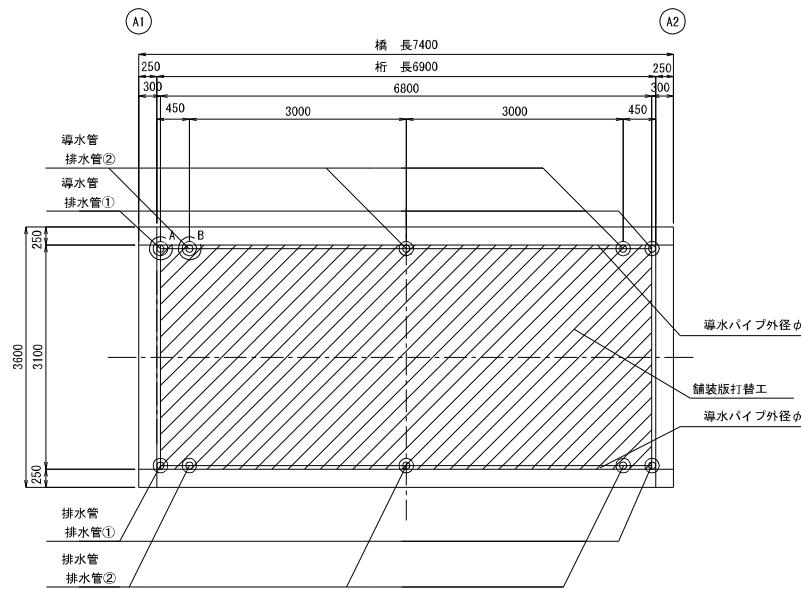
工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	上部工補修工図		
縮 尺	図 示	位 置	NO. ~NO.
設 計 者			設計 年度
白 石 市	図番	4 / 8	

### 注記

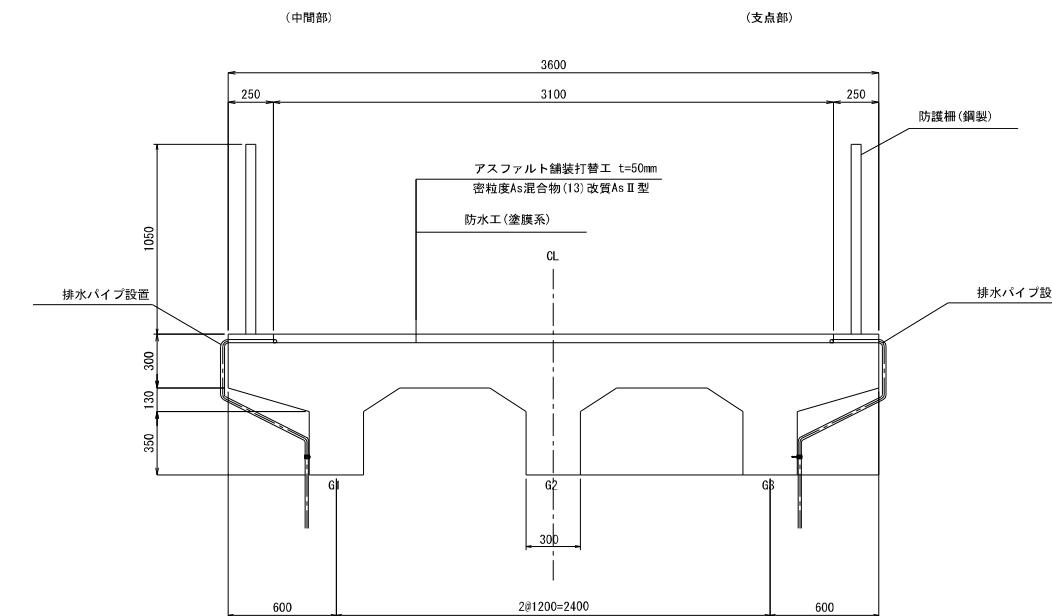
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
- 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
- 鉄筋の損傷が著しい場合、発注者と協議の上対策を講じること。

# 床版防水・再舗装工図

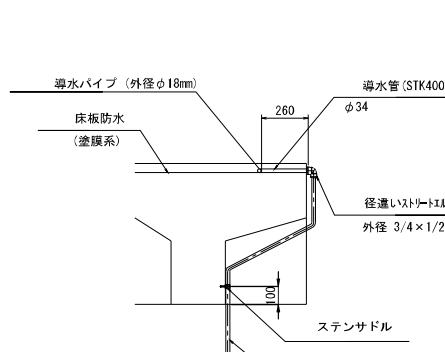
平面図 S=1:50



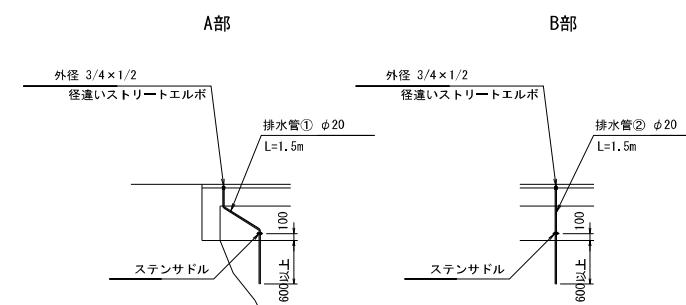
断面図 S=1:20



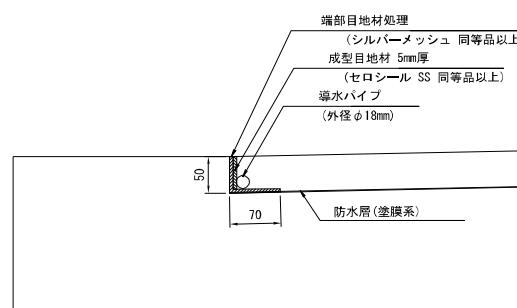
導水管詳細図 S=1:20



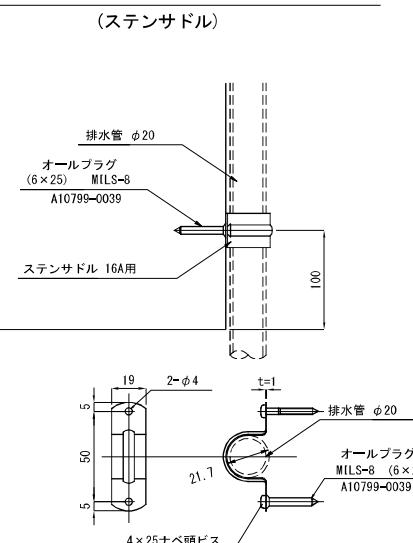
排水管詳細図 S=1:50



防水層詳細図 S=1:5



排水管用固定金具詳細図 S=1:2



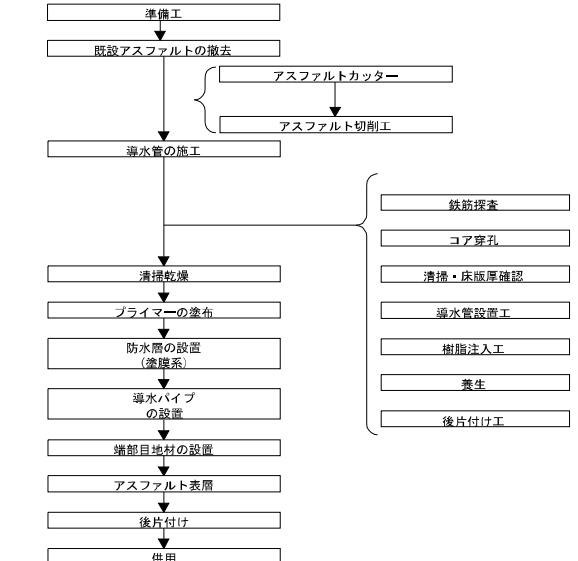
床版防水工数量表

項目	単位	数量	摘要
防水層	m <sup>2</sup>	21.1	
導水管	組	10	
導水管	m	13.6	
排水管	m	15.0	
成型目地材	m <sup>2</sup>	1.0	セロシール SS 同等品以上
端部目地材処理	m <sup>2</sup>	2.4	シルバーメッシュ 同等品以上
支持金具	個	10	

舗装工数量表

項目	単位	数量	摘要
舗装版撤去	m <sup>2</sup>	21.1	アスファルト
産廃処理工	m <sup>3</sup>	1.1	
舗装版新設	m <sup>2</sup>	21.1	密粒度As混合物13F改質II型

施工順序



実施

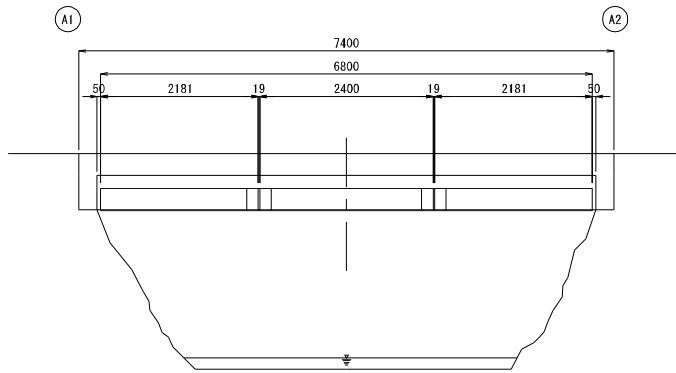
工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	上部工補修工図		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者	設計年度		
白石市	図番 5 / 8		

注記

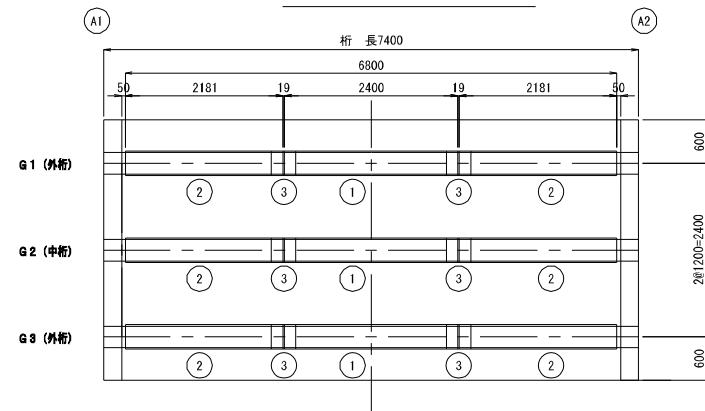
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
- 施工前に現況を再度調査・寸法計測し、数量を算出すること。
- 本図面は、業務時に確認した点検調査・現地確認を基に作成しており、施工の際は現地確認を行い、損傷等の進行を調べ補修工法を確認の上、施工すること。

### 主桁補強図

## 側面配置図 S=1:50

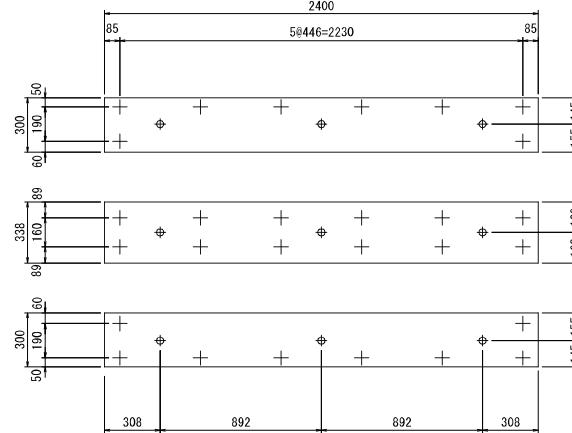


## 平面配置図 S=1:

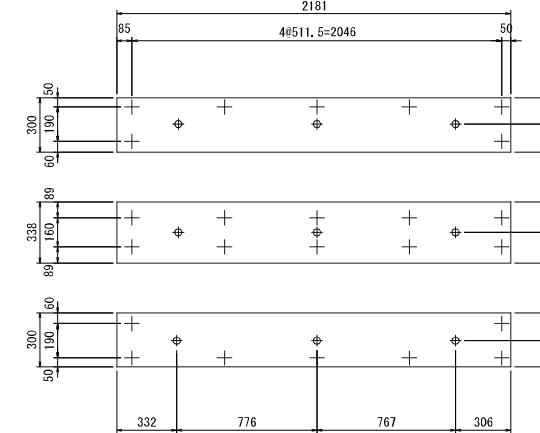


## 鋼板加工図 S=1:20

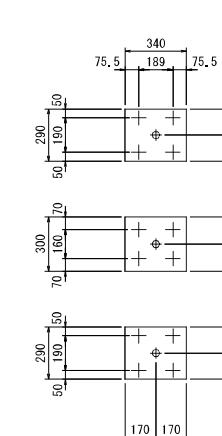
1 3-PL 300×4.5×2400  
3-PL 338×6.0×2400  
3-PL 300×4.5×2400



2 6-PL 300×4.5×218  
6-PL 338×6.0×218  
6-PL 300×4.5×218

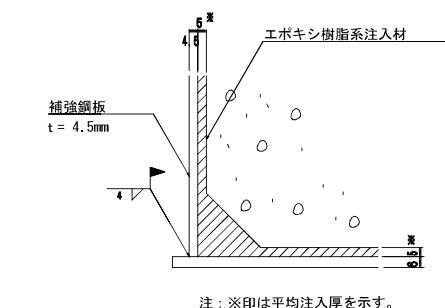


3 12-PL 290×4.5×34  
12-PL 300×6.0×34  
12-PL 290×4.5×34



〈凡例〉

A部詳細 S=1/2



注：※印は平均注入厚を示す。

## 实施

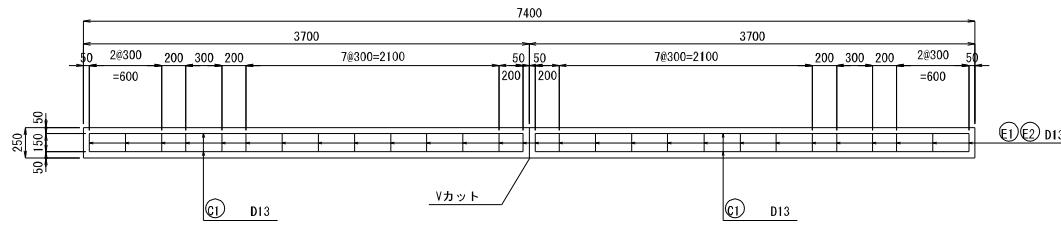
工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	主桁補強図		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者		設計 年度	
白石市	図番	6 / 8	

注記

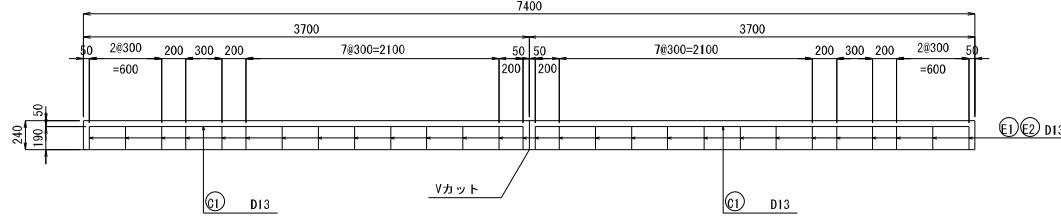
- ・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
- ・施工前に現況を再度調査・寸法計測し、数量を算出すること。
- ・特記なき鋼材材質はSM400とする。
- ・詳細な寸法等は現地検査のうえ決定すること。
- ・注入量は平均値を示す。

## 地覆打替工図

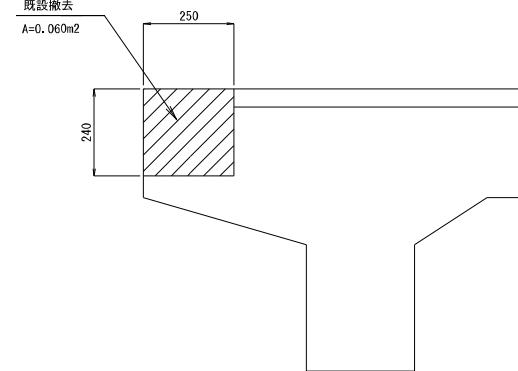
平面図 S=1:30



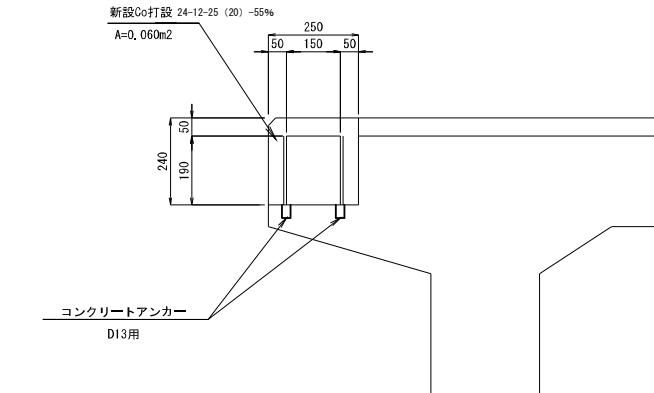
側面図 S=1:30



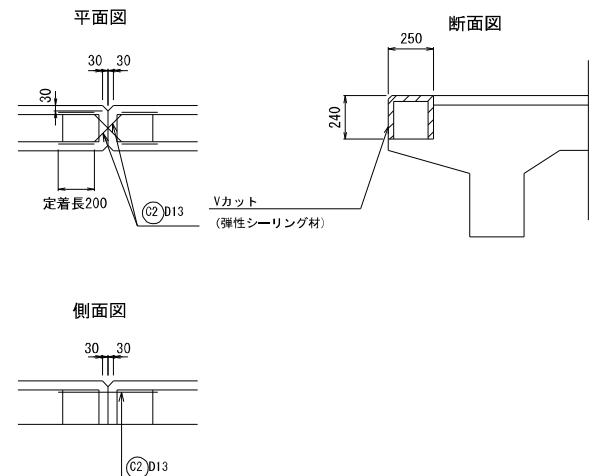
既設地覆図 S=1:10



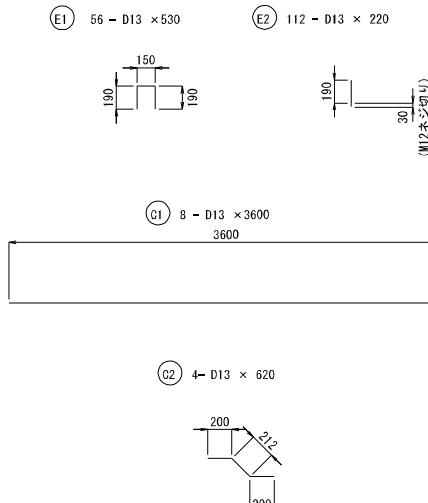
新設地覆図 S=1:10



ひび割れ誘発目地(Vカット)詳細図 S=1:20  
2箇所



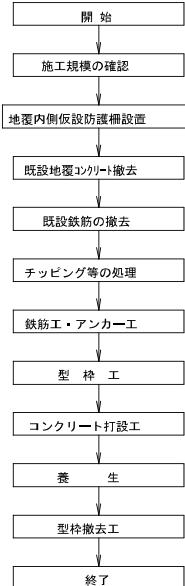
加工図 S=1:30



鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
E1	D13	530	56	0.995	0.53	30	□
E2	D13	220	112	0.995	0.22	25	1
C1	D13	3600	8	0.995	3.58	29	—
C2	D13	620	4	0.995	0.62	3	＼
D13 合計							
Coアンカー D13用 112 本							
既設コンクリート撤去体積 0.89 m <sup>3</sup>							

施工フロー (案)



### 実施

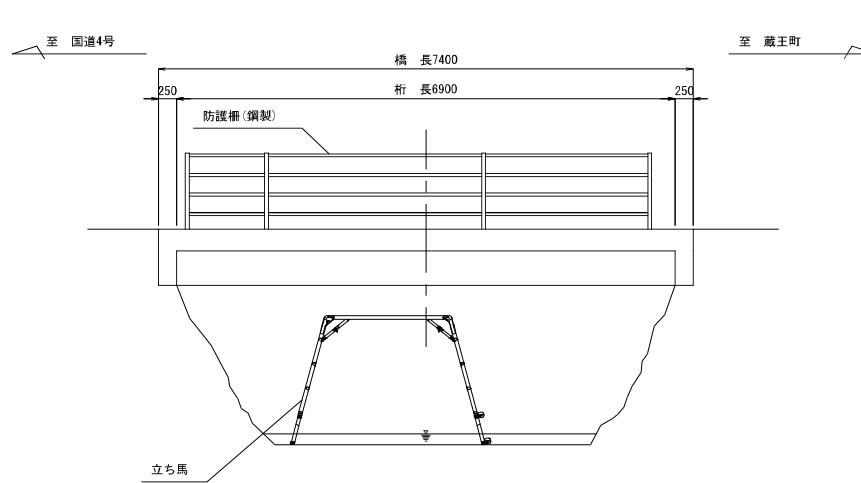
工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	地覆打替工図		
縮尺	図示	位置	NO. 設計年度
設計者	白石市		
図番	7 / 8		

注記

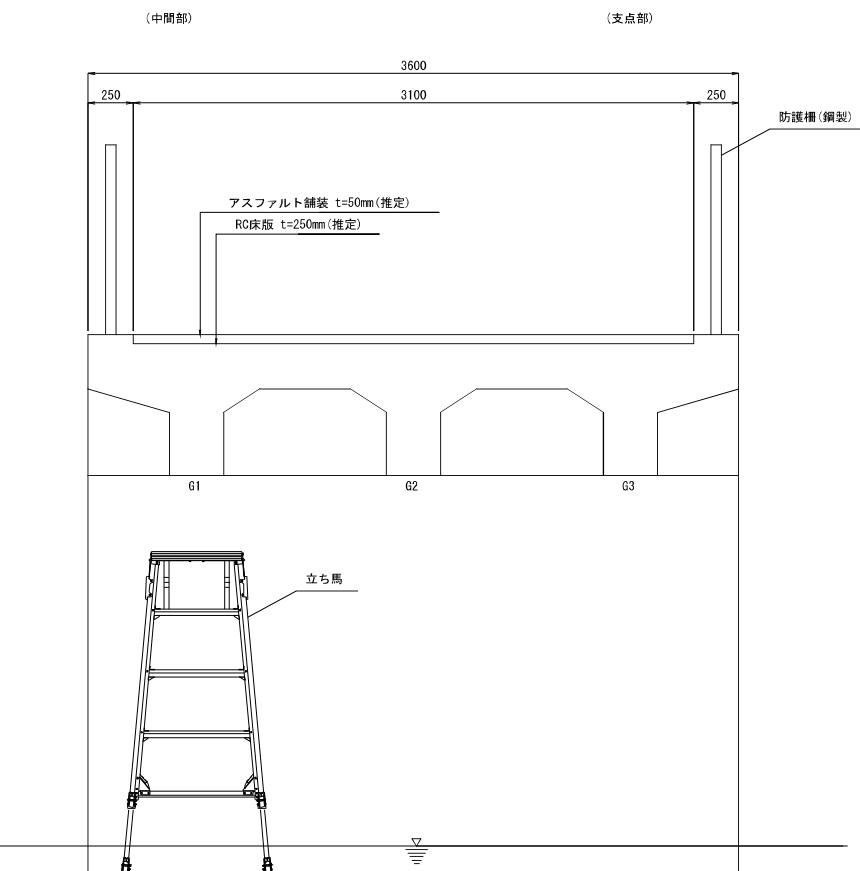
- 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
- 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認の上施工すること。
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 地覆鉄筋と防護柵アンカーボルト、プレートが干渉する場合、地覆鉄筋をずらして設置すること。

## 施工計画図(参考図)

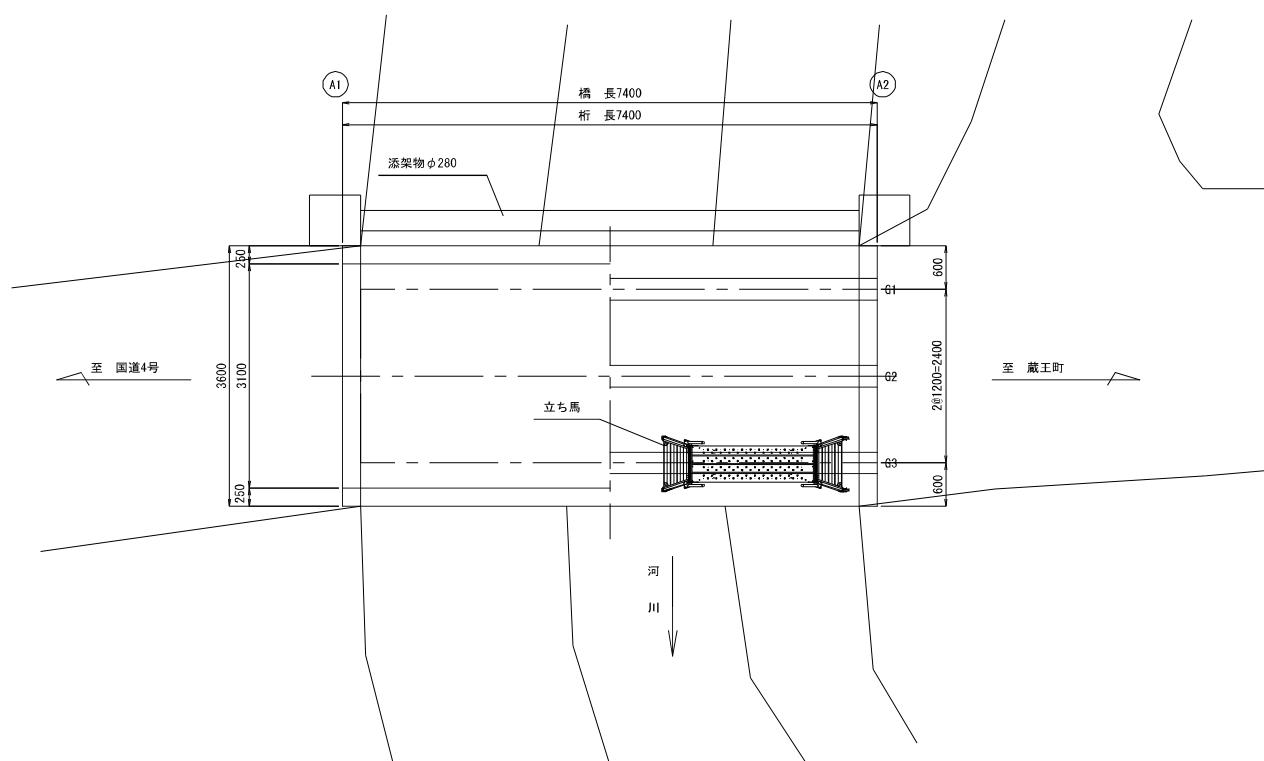
側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



平面図 S=1:50



数量表

種別	細別	規格	単位	数量	備考
足場工	立ち馬		台	1	

実施

工事番号			
路線名	市道 青木前1号線		
施工地名	白石市福岡深谷字青木脇 地内		
工事名	令和7年度 市道青木前1号線 (無名橋1号) 橋梁修繕工事		
図面名	施工計画図(参考図)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者			設計 年度
白石市	図番	8 / 8	

注記  
 • 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。  
 • 施工前に現況を再度調査・寸法計測し、数量を算出すること。  
 • 本図面は、業務時に確認した点検調書・現地確認を基に作成しており、施工の際は現地確認を行い、損傷等の進行を調べ補修工法を確認の上、施工すること。